

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：永島]

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

平成23年度 病害虫発生予察情報 特殊報第1号

平成23年4月5日

島根県

イチジクモザイク病の本県での初発生が確認されたので特殊報を発表します。

【概況】

平成21年4月、出雲市のイチジクにおいて、葉脈に沿って著しい退色や葉の奇形症状が認められた(図1)。そこで、東京大学植物病院®に診断依頼したところ、イチジクモザイク病の病原である fig mosaic virus (イチジクモザイクウイルス [仮称]) が検出された。

- 1 病害虫名 イチジクモザイク病
- 2 病原名 fig mosaic virus (イチジクモザイクウイルス [仮称])
- 3 作物名 イチジク
- 4 発生場所 出雲市
- 5 発生生態

1) 病徴

葉、果実に症状がみられる。葉では葉脈に沿って著しい退色や奇形症状が現れる(図1)。また、果実の斑紋、未着果枝の発生及び節間の短縮を伴うことがある。症状は樹全体で見られる場合もあれば、同じ樹であっても主枝単位で見られる場合もある。

2) 伝染経路

感染した親株を用いた挿し木等による栄養繁殖によって伝染すると考えられる。また、海外ではイチジクモンサビダニにより伝搬するという報告がある。接触伝染、土壌伝染はしないと考えられる。

3) 宿主植物：クワ科イチジク(現時点では他の宿主植物の報告例はない)

6 防除対策

- 1) 健全苗を使用する。
- 2) イチジクモンサビダニに対して薬剤防除を行う。

農薬名	希釈倍率	使用時期	使用回数	成分の総使用回数
石灰硫黄合剤	20~40倍	冬期	—	石灰硫黄合剤：—
ダニトロンフロアブル	2000倍	収穫3日前まで	1回	フェルピメト：1回
サンマイル水和剤	1000~1500倍	収穫7日前まで	1回	ピリダピソ：1回
ピラニカ水和剤	2000倍	収穫7日前まで	1回	テフフェルパト：1回

注) 平成23年2月現在

7 その他

疑わしい症状が発生している場合は、病害虫防除所(0853-22-6772)に連絡する。



図1 葉脈に沿った著しい退色と奇形



図2 イチジクモンサビダニ  
(写真提供 東京大学植物病院®)